

平成30年度事業報告

1 舞台公演事業

「どの子にもナマの舞台の感動を！」をテーマに、幼児・児童を中心としてゆたかな情操の涵養と創意性を育み、次代を担う子ども達の人間力を醸成するとともに、より良い社会の形成と芸術文化の振興に資するため、全国の保育園・幼稚園・福祉施設等で人形劇を主体とした巡回公演を1,211回実施した。

上記の内、作品「このつぎなあに」は(独)日本芸術文化振興会の助成事業として合計263回実施した。

2 国際交流事業

(1) 平成30年8月4日(土)～5日(日)に理事長大場隆志氏が中国からの舞台関係者12名をすぎのこ婦恋研修センターに招き、日中の文化交流を促進した。

(2) 平成31年1月11日(金)に、理事長大場隆志氏、顧問小澤幸雄氏が北京台湖から来日した北京市文聯戯劇家協会関係者4名と日中人形劇の交流について意見を交換した。

3 施設運営事業

(1) 婦恋研修センター

当法人が使用しない遊休期間、芸術文化活動並びに自然体験活動にかかわる団体又は個人に婦恋研修センターの諸施設を開放した。

① 野外活動施設「わんぱく村」を、延べ宿泊数4泊開放した。

② 宿泊研修施設「すぎのこ山荘」を、延べ宿泊数136泊開放した。

(2) 飯能研修センター

当法人が使用しない遊休期間、芸術文化活動及び自然体験活動にかかわる団体又は個人に飯能研修センターの諸施設を計188日間延べ人数1089名に開放した。

4 講習研修事業

保育に役立つ「人形劇の活用法」「発声」の指導の講習会を合計3回実施した。

5 教材及び機関紙の発行(出版・企画事業)

(1) 各種教材の普及頒布

① 影絵紙芝居の作り方、各月の影絵紙芝居DVD等の普及頒布

② 保育者のための「人形劇じゃない人形劇」(人形劇指導書)の普及頒布

③ 環境教育劇テキスト兼絵本の普及頒布

(2) 季刊紙「すぎのこ」を年4回発行した。